

第 11 回独立行政法人日本万国博覧会記念機構評議員会 (議事要旨)

1. 日時 平成 23 年 7 月 27 日 (水) 15:00～16:15

2. 場所 万博記念ビル 4 階 第一応接室

3. 出席者

議長 川上 哲郎

評議員 石毛 直道

稲岡 真理子

井上 哲也

井上 義國

熊谷 信昭

田邊 隆一 (代理出席: 浅野 尚未)

富金原 俊二

福田 昌弘 (代理出席: 新井 純)

堀井 良殷

(敬称略 五十音順)

4. 議題

(1) 平成 22 事業年度 業務実績報告について

(2) 平成 22 事業年度 決算について

(3) 平成 23 事業年度 年度計画について

(4) その他

5. 議事内容

万博記念機構より資料に基づき上記議題を説明。
その後、意見交換。

評議員からの主な意見は次のとおり。

○太陽光発電設備の拡張を検討してはどうか。

○万博基金の助成事業は、金利低下により全体の助成金が減少している中にあっても、国際学会の開催支援等の学術助成は重要な事業であり、また、海外への支援も、日本のプレゼンスを示すという意味で大いに意義のある事業である。

○阪大の吹田キャンパスと万博記念公園及び民族学博物館との間を人が行き来できるように、陸橋かトンネルの設置を検討してはどうか。

○公園事業の大阪府への移管に伴う財産関係の整理を議論する場合においては、その前身である万博記念協会を設立したときの原点の考え方が強調されなければならない。万博が世界で最も大規模で参加者の多い博覧会になったのは、大勢の関係者の努力と諸外国の大きな貢献と参加があったからであり、その結果として、貴重な剰余金ができ、そして、それにより学術、文化振興と、お世話になった諸外国に対する恩返しを続けていこうということで、万博記念協会が基金事業をスタートしたのである。